

まみのまちのチェックシート

大きな地震がきたときを考えてみよう



チェックシートの使い方

このチェックシートをもとに、地震や火災等に対して、どの程度知っているか確認してみましょう。チェックが終わったら、家族の人と一緒に、これから確認しておくこと、備えておくことなどについて話し合ってみましょう。

さいたま市 都市総務課

それぞれ正しい答えに☑を入れましょう。

問1 自分の家で大きな地震がおきたらどうする？

- ア. とにかくすぐに外に飛び出す
- イ. 台所やストーブの火を消しに行く
- ウ. ゆれが静まるまで机の下などにもぐる



問2 学校の行き帰りで大きな地震がおきたらどうする？

- ア. フロック壷や電柱につかまってゆれが静まるのを待つ
- イ. 広場や畑などに逃げてゆれが静まるのを待つ
- ウ. ゆれが静まるのを待たずに家まで逃げる



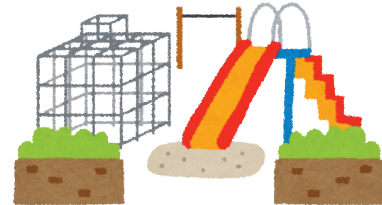
問3 地震で壊れる可能性が高い建物は？

- ア. 10年以上前に建てられた建物
- イ. 20年以上前に建てられた建物
- ウ. 30年以上前に建てられた建物



問4 いざという時の避難場所は？

- ア. 何があっても決められた避難場所まで逃げる
- イ. 近くの安全な広場や畑に逃げる
- ウ. 誰かから指示されるまでは家から避難しない



問5 避難場所までどうやって避難する？

- ア. 誰かに連れて行ってもらうのを待つ
- イ. 危険箇所があっても最短の道を使って避難する
- ウ. 遠回りでも危険そうな場所は避けて避難する



問6 火事が起きやすいのはどんなまち？

- ア. 道路が狭く密集したまち
- イ. 高いビルが建ち並ぶまち
- ウ. 公園や農地の多いまち



問7 地震で通れなくなる可能性が高い道路は？

- ア. 幅が4m未満の道路
- イ. 幅が6m未満の道路
- ウ. 幅が8m未満の道路



問8 災害から早く復旧するために一番大事なものは？

- ア. 災害に強い道路や公共施設をつくっておく
- イ. お金や食糧を蓄えておく
- ウ. 周りの市町村に助けを求める



問9 さいたま市の復興はいつ考えればいい？

- ア. 被災した時の状況を見て考える
- イ. 被災していない今からきちんと考えておく
- ウ. 災害を防げばいいので復興は考えなくていい



問10 安全で快適なまちをつくるにはどうすれば？

- ア. みんなの好きなように建物を建てる
- イ. 古いまちはこわして次々に新しいまちをつくる
- ウ. きちんとルールをつくって建物や道路をつくる





おうちの方と答えあわせをしてみよう

正しい答え

問1	ウ	地震がおきたら、まず自分自身の安全を守ることが一番大事です。逃げるのも、火の始末も、ゆれが収まってからにしましょう。
問2	イ	ブロック塀や電柱は、地震で倒れてくる危険があります。通学路の途中にある広場などを日頃から確認しておきましょう。
問3	ウ	昭和56年以前（約30年前）の建物は、新しい「耐震基準」ができる前の建物なので、大きな地震で壊れる可能性があります。ただし、耐震改修をしていれば、古い建物でも大丈夫です。
問4	イ	自宅が危険と感じたら、まずは近くの安全な場所に避難しましょう。決められた避難場所まで無理して逃げるのではなく、近くの安全な広場や畑に逃げて、落ち着くのを待ちましょう。
問5	ウ	地震や火事が起きると、道がふさがったり、橋が壊れたりして、普段は通れる道が通れなくなる可能性があります。普段から避難路の途中にどんな危険な場所があるか確認しておきましょう。
問6	ア	大きな火災が発生する危険性があるのは、道路が狭く木造住宅が密集している地域です。燃えにくい建物を増やしたり、公園や道路などを広げることで、火事がおきにくいまちになります。
問7	ア	これまでの地震で、幅員4m未満の道路は、建物やブロック塀が倒れてふさがってしまう可能性が高いことが分かっています。幅の広い道路を使って逃げることを考えておきましょう。
問8	ア	災害に強い道路や公共施設があれば、すぐに食糧や機材を運んだり、周りの市町村に助けを求めることができます。また、さいたま市が早く復旧できれば、周辺の市町村を助けに行くことも可能になります。
問9	イ	東日本大震災の復興で明らかになったのは、災害がおきる前から復興を考えておくことが大事、ということでした。さいたま市でどんな災害がおこるかを考えて、準備しておくことが大事です。
問10	ウ	みんなが好きなように建物を建てるのではなく、どのようなまちをつくるかを決めて、建物を建てる時に道路を広げたり、燃えない建物をつくるようにすることが大事です。

いくつ正解できましたか？

0~3	いざというときに危ない！ 災害が起きてからではおそい！
4~6	まだまだ！ もっと防災のことを勉強しましょう！
7~9	もう少しです！ 間違ったところをもう一度確認しておきましょう。
10	満点です！ 今後も家族の人といっしょに備えておきましょう。

